

奈良のエコスタイルを発信する「サワ〜タイムズ」。



茶話〜タイムズ

Vol.4

2017年7月



発行元：奈良市地球温暖化対策地域協議会 (NEW)



みなさん、奈良のお土産といえ
ば何を思い浮かべるでしょうか？
柿の葉寿司、奈良漬などがありま
すよね。
今回は、葛専門店の「天極堂」さ
んにお邪魔してきました！
私が訪れたのは、東大寺の近く
にある奈良本店です。明るい店内
では、お土産だけではなく葛を用
いた料理やスイーツも提供され
ていました。
天極堂の名前の由来とは、「天の
恵みに感謝して極めていただく」
だそうです。天然の葛を使ってい
る天極堂さんならではのですね。

納得の食材と味わい(食)
—古代からの自然食材 夏の体温も下げる?—

今回、私たちはお店の方おす
めの葛餅をいただきました。
葛プリンセットも気になったの
ですが、葛餅を食べたことがなか
ったのでこちらに決めました。
温かい葛餅に黒蜜をたっぷりつけ
て食べた瞬間口の中で溶けてしま
いました！あたたかくてトロトロ
していておいしかったです。
文章では伝えきれないほどおい
しくて感動するので、ぜひみなさ
んも食べてみてください。黒蜜や
きなこもおいしいのですが、なん
ととっても葛本来の味がしっかり
していて、なにもつけなくてもお
いしかったです。
ここで気になるのが葛餅は何菓
子かということですよ。
洋菓子ではないけれど…。



取材した私たちは和菓子かなと
思いましたが、なんと葛菓子とお
店では呼ばれているそうです。和
菓子とひとくくりには呼べないとい
うのが葛餅を食べたあとでは納得
がきました。
昔から風邪をひいたときは葛根
湯や葛湯が飲まれていたと思いま
すが、その歴史をたどってみると
奈良時代にまで遡れるようです。
そんな昔から葛は私たちの生活の
身近にあったんですね。



葛を用いた食べ物というと、
和菓子を思い浮かべる人が
多いかと思いますが、お店で
は洋菓子や料理の注文が多
いようです。なかでも小麦粉
を使わずに葛粉と大豆粉で
作るパウンドケーキは、小麦
アレルギーの方にも人気だ
そうです。

クールチョイス (賢い選択)の一つ



体を冷やす夏野菜。
夏がくれた優しさだ。

健康食品として知られている葛ですが、イソフラボンが多く含まれているのをご存じだったでしょうか？

食品としてだけでなく、化粧品としても葛は注目されています。天極堂では、現在葛を用いた化粧品も販売されています。肌に良さそうですね。

なんと！お店の方は葛ソムリエの資格を持って、いろんな人に葛を知ってもらおう葛の伝道師のようにお話してくださいました。

私も初めて食べてみてこんなにおいしいんだと知ったので、もっとたくさんの人に葛餅のおいしさを知ってもらいたいと思いました！

いにしえの香り(土地柄) —古民家での交流として、レンタルの離れ家として—



ゲストハウスというのは一から造るものは少なく、もともとあった建物の改装、リユース(REUSE)で作られるものが多いのです。そこで今回は、なんと築100年にもなる日本家屋を改装したという、「遊山ゲストハウス別荘」にお話を伺いました。遊山という名は、物見遊山から採ったそうで、「ゆざん」と読みます。ここは近鉄奈良駅から湯立大へ通学する途中で、昔は近鉄電車が路面を走っていた頃の中ほどです。奈良を観光するには、いい場所と思います。

皆さんは「ゲストハウス」という宿泊施設をご存じですか？ ゲストハウスとは、旅館やホテルなどと比べてサービスが簡素な代わりに、格安で宿泊できる施設のことです。

現在、日本には大勢の外国人観光客がきており、それは私たちが住む奈良市も例外ではないのが、

そんな中、奈良市には宿泊施設が少ないといわれていますが、このゲストハウスが続々と開かれて注目されています。現在は、市内に30軒ほどあるそうです。

このオーナーさんは元パッカーバツカーで、世界を渡り歩いた経験がある方です。そのためか、宿泊者同士の交流を重視しているようで、たまに「他国の人と話したいけどきっかけがない」、といった日本人には、双方に話しかけて交流の橋渡しをするそうです。

また、近くにあるおすすめのお店を紹介して、地の温もりを感じてもらったりもするといえます。私もアジアの国を旅したことがありますが、こういう気づかいは本当にありがたいと思います。



泊まりに来るのは外国の方だけではなくありません。意外にも近所からの予約も多いといえます。

どう使ってもらおうかというところ、親戚や孫たちが自宅に入りきらない人数で泊まりがけで奈良に来たときや、家の改装中などに寒泊まりしに来るようです。

まるで自宅の離れのような感覚で、気軽にお手軽に利用できるみたいです。

これからはこういった「普段使いの宿」としても使っていただきたい、とオーナーさんは言います。日本家屋内で外国の方と交流するといふ、軽い非日常を体験したい人は、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



奈良のエコスタイルを発信する「サワータイムズ」。

NEWからの活動紹介

奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)は、市民・事業者・行政等、多様な会員が等しい立場で和をもって協議し、温暖化防止活動に取り組んでいます。

- ①省エネ・制エネプロジェクト
- ②環境教育プロジェクト
- ③SRプロジェクト
- ④交通プロジェクト

また、意見交換の場として、エコエコサロンを随時開催いたします。

ご参加いただける方の入会を歓迎いたします。詳しくは、各ホールの事務局にお聞きください。



NEW

もら エコエコ 和



未来のために、いま選ぼう。

ゲストハウスは、新しい宿泊スタイルと言えますね。地球温暖化への対策は、これからも様々なスタイルで変化して、市民一人ひとりの理解と協力が必要になります。

ちよつと省エネになるかな？という気持ちで、気付いたことを実行していきましょう。

クールチョイス

【賢い選択】

地球温暖化での日本の対策は、賢が賢い選択をすることで、社会全体での省エネが進むことを推進しています。

皆さんも、気軽に日々のクールチョイスに参加しましょう。

学生の取材ということで、私たちはロビーの先にあるティールラウンジ「扇滝」に案内していただきました。

このティールラウンジ「扇滝」は、名前の通り扇のような大きな滝の流れを楽しみながら、お茶ができるという珍しいカフェです。私も滝を見たときはとても驚きましたが、大きな音もなく風流な感じでもとてもゆったりできます。



観光地である奈良には宿泊施設が多くありますが、今回は地域の方も利用しやすい奈良ロイヤルホテルにお邪魔しました。

足を一歩踏み入れると、豪華な装飾が施されているのに、どこか落ち着いた雰囲気のあるロビーと受付が目に入ります。

奈良の食材である大和茶と白きくらげが入ったプリンに、「ヘアリーベッチ」という蜂蜜をかけていただきます。



お話しはなんと山下社長が直々にしてくださいました。ちよつと緊張したのですが、デザートを食べながらお聞きしました。

その社長おすすめのデザートが「大和茶プリン」です。

おもてなしは心地良く(観光)
—市民の利用も大歓迎・夏の涼しいひととき—



最初は、抹茶プリンをイメージしたのですが、食べてみると抹茶のような苦みは少なく、白きくらの食感がアクセントになっています。

さらにこの「ヘアリーベッチ」という蜂蜜が、意外に合います。普通の蜂蜜と違って、甘みはありますがとても軽やかで、大和茶プリンにかけると上品な味わいになり、とても美味しいです。

そして、大和茶、白きくらのヘアリーベッチには食物繊維やビタミンなどの美容成分が含まれています。

ティーラウンジでの優雅なティータイムって、このようなひと時もあられませんか。

私たちはホテル内の大広間なども見学させていただき、お客様をおもてなしするために事前の準備などの心配りをされていて、卒業して社会人になる時の心構えもお聞きしました。

また、奈良ロイヤルホテルでは旅行客だけではなく、奈良市民の方も気軽に利用されるよう、ティーラウンジ「蘭滝」だけでなく、日帰りの利用が可能な温泉もあります。



こちらの温泉は、奈良市内で初めて湧出した天然温泉です。茶話タイムズの創刊号に掲載していますが、昨年のリニューアルで女湯の拡張も行われたそうです。

そして、気軽にホテルに行けるようシャトルバスの運行もされています。

こんなバスが奈良市内を走っていたなんて！

奈良絵が描かれているのでわかりやすいですね。



この停留所は近鉄奈良駅やJR奈良駅にあつて、非常に便利に送り迎えしてくれます。

手軽に行ける温泉と美容成分たっぷりの和スイーツを奈良で楽しんでみませんか。



茶話タイムズの創刊号では、ホテル内の「天平の湯」を取り上げましたが、ゆつたりとした時間をクールシェアで過ごしていただくことも、地球温暖化防止の一環です。クールシェアやクールビズでのクールは「涼しい」です。これは分かりやすいのですが、クールチョイスのクールは「賢い」です。

遊山のような地域インフラ

100年の歴史を持つ建物をさらに使っていく工夫は、設備の長寿命化になります。高度経済成長時に造られた水道・下水道や電気・ガスも、その更新で少しずつ省エネ化や環境対策が進むとともに、より長く利用する考え方があります。

健康と地球温暖化

奈良の気候でも、0℃の真冬日や35℃の猛暑日はあります。ところで、地球温暖化での2℃上昇といふのは、3℃の体温が38℃になることに似ています。





身近な広報誌(NEW) 「奈良市地球温暖化対策地域協議会」の紹介

奈良市地球温暖化対策地域協議会(ならエコエコの和・NEW)は2008年10月26日に設立し、今年度10期目を迎えました。

市民・企業・行政(奈良市)が力を合わせてできた「地球温暖化対策を進める」地域協議会です。

昨年末、世界各国の気候変動に対する危機感から迅速に発効した「パリ協定」。

しかし、アメリカのトランプ大統領が離脱を宣言しました。世界の各国が憂慮しています。

日本の私たちでも温暖化の影響を感じる災害や現象が多くなり、対策を一刻も早く踏み出さなければ、取り返しがつかない段階に来ているのではないかと思います。

すでに炭素排出の制約が現実的となる厳しい時代が近づいています。

私は自分のNPO活動で、奈良県内で市民が資金を出し合って作る市民共同太陽光発電所を6カ所(合計110kW)作ってきました。

「完成を祝う会(点灯式)」をする度に思っているのは、市民の力や思いは「大きく熱い」ということ。

温暖化対策には、国や自治体の制度や政策はもちろん、市民や企業の一人ひとりの力やアイデア、

工夫が必要です。

NEWではより多くの方のご参加を得て進んでいきたいと思えます。みなさま、楽しくすすめるアイデアをお寄せください。

本誌も、みなさまに親しんで読んでいただけるような記事にしています。そのような視点で、取材と記事については、奈良県立大学の学生さんとコラボして作っています。

またNEWのイベントでも、同学生さんを入れて省エネ相談に応じていますので、お気軽にお声がけください。

NEW会長 清水順子



イベントあつと奈良(催しもの) 「耳から心へ、さり気なく届く地域の音情報」



奈良市の地域密着型コミュニティFM局「ならどっと FM78.4MHz」は、JCBAインターネットサイマルラジオ同時放送中なので、奈良市から遠く離れていても聴けますよ。

コミュニティFMは、市町村単位の放送局で、放送エリアは狭く、ならどっとFMの場合、放送を受信できるのは、奈良市内を中心にその周辺地域となっています。

そのため小さいイベントなど地元の情報も集まる広場でもあり、その情報を詳しく伝えることができます。

皆さん、普段ラジオは聴きますか？勉強のお供に聴いたり、車で流れていたり、音楽番組やスポーツ中継を聴いたり…。ラジオは皆さんにとっても馴染み深いのではないのでしょうか。





スポンサーも地元のお店などが多く、CMにもお店の人が自ら出演することが多いようです。何か地元って感じますね。

また、天平祭にブースを出すなど、地元の方々との交流も大切にしていきます。

このようなコミュニティFMの長所を、ならどつとFMでは最大限に活かして番組作りをさせていただきます。

例えば他団体の周年事業(奈良ロータリークラブ創立60周年事業)ラジオウオーキング。

これは奈良文化財研究所の先生の様々な解説やお話をラジオで聴きながらウオーキングするものです。

6年前の東日本大震災の時には、情報が不足しました。

そんな中で、被害情報ではなく、食べ物やお風呂、手続きなど生活に密着した「内向け」の情報を渡すことができるコミュニティFMの有用性は、ほんとに心強く注目が集まりました。

最近ラジオをあまり聴かなくなった人やラジオに馴染みがない人もラジオを聴いてみると、新たな発見があるかもしれませんね。



このラジオウオーキングでは、約200名の参加者が同じ内容のお話しを聴くことができました。

また、ラジオを聴いているのはほとんどが奈良市内の人なので、先生と参加者が多いている場所を思い浮かべて楽しむこともできました。

NEWからのお知らせ

奈良シティエフエムコミュニケーションズさんは、今年度に環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金として「地域コミュニティを活用した地球温暖化対策啓発事業」を実施される予定です。

NEWも、クールチョイスの普及啓発に取り組んでいきますので、ラジオから私たちの声が皆さんに届くかも。



ならどつとFMは、ラジオ番組を聴くだけではなく、市民も参加して発信できるラジオ局であることを目指している。市域内での心の通う拠点を目指しておられます。僕たちも番組に出られるかと思いました。

皆さんも機会があれば、リクエストやお便りを出したり、ラジオを聴いて地元の役立つ情報を仕入れたりして楽しいラジオライフを送りませんか？そして情報発信を、心地良い音楽とともに。

編集記

NEWと協働して、広報活動してくれている奈良県立大の学生7名がら々所を訪れ、若い視点で本誌の記事を執筆しました。読者の方々が、省エネやエコ生活に少しでも関心を寄せていただき、本誌の情報を口コミで広げていただければ幸いです。また、取材先の皆さんのご協力を感謝申し上げます。

取材先

NEWでは、茶話～タイムズの取材に応じていただける事業者さんを募集しています。ジャンルは次の8とおりで予定しています。

- ・おもてなしは心地良く(観光)
- ・いにしえの暮らし(土地柄)
- ・知っ得住まい(住)
- ・奈良暮らしお徳情報(生活)
- ・納骨の食材と味わい(食)
- ・体が喜ぶそれ何?(健康)
- ・心に響く品々(衣・身の回り)
- ・イベントあっと奈良(楽し物)



奈良のエコスタイルを発信する「サワータイムズ」。

そんなスバルの車の安全性について、私たちもアイサイトという自動ブレーキ機能の体感をさせてもらいました。
時速20キロで車は、障害物に突っ込んでいきます。障害物に近づくとビ・ビ・ビと音が鳴ります。

スバルのメーカーさんは、この4月に富士重工業からSUBARUに社名を変更されました。また、車は安全性にとっても優れているとのことでした。

スバルのインプレッサSPORT/G4、SUBARU XVが、2016年度の自動車アセスメント(JNCAP)において過去最高の得点を獲得し、「衝突安全性能評価大賞」や「歩行者保護エアバック」搭載車として特別賞の受賞もされたとのことでした。

奈良スバル自動車では、エコアクション21認証を受けた環境取組もされています。

奈良スバル自動車株式会社の奈良店に伺って、最近の自動車についてお聞きしました。

奈良暮らしお得情報(生活) —自動車は、もっと快適で安全になってくれそう—

ぶつかると思ったその瞬間です。急ブレーキが自動で作動し、ぶつからずに止まりました。この機能のおかげで追突事故は、83・8%も減少したそうです。ほんとに止まるのかなあと思った方は、ぜひ奈良スバル奈良店で体感してみてください。



奈良店独自のスローガンポスター

奈良店のスバル宣言は

また来たいと思って頂く接客をします



私たちは、お客様に「安心と嬉しさ」をご提供するため「スバル宣言」を掲げ、全力で活動しています

奈良店ならではの魅力もたくさんありました。
まず、お店に入るとスバルの車たちがむかえてくれます。
大きな窓により光がたくさん差し込みとても明るい店内で、床は木でできているためとても暖かい雰囲気でした。



気軽に来てもらえるようなお店作りを目指しているそうです。
ディーラーではめずらしく、店内中央に広いキッズスペースがあります。お子さんを連れの方は、キッズスペースが見えるところで相談などができます。
長い待ち時間で子どもたちが帰りたいと駄々をこねることを心配することもあると思いますが、ここでは、「帰りたいくない」と言う子どもたちもいるそうです。これなら安心して来店できますね。
キッズスペースにはおもちゃだけでなく、スバルの子ども用メカニックスユニフォームがあり、試着して記念撮影することもできます。



キッズスペースの壁には社員の方が作成されたかわいい飾り付けがしてありました。季節でいろいろな飾り付けをされているそうです。子ども用のおもちゃがあるだけでなく、子どもたちが喜ぶ工夫をされていました。



他にも気になったものが、スバルミニカーコレクションです。様々なスバルのミニカーが展示されていたのですが、実はこれ、お客さんから贈られたものもあるそうです。お客さんとお店の方がとても良い関係を築かれているんだなあと感じます。

エコドライブ10

奈良スバルでは、車の安全性で多くの体験もさせていただきましたが、エコドライブも安全第一の基本です。ふんわりアクセルや車間距離にゆとり、減速時は早めにアクセルを離すとか渋滞を避けるなど。

また、その横には手書きのスバル情報があります。手書きだから伝わる温かさがありますよね。ただ、冊子を置いておくだけでなく、このようにひと手間加えて、お客さんがわかりやすいように、楽しめるように様々な工夫をされていることがわかりました。

この「茶話タイムズ」もこれからもたくさんさんの場所を取材してたくさんさんの情報を皆さんにお届けできたらと思っています。

また、奈良店ではスペースの貸し出しを行っているそうです。

ミーティングなどでスペースを利用したい方、平日の昼間は大歓迎というところなので、興味のある方は一度奈良店にお問い合わせください。とても明るい店内で心地よかったです。

「少し見てみようかな」でも、来店は大丈夫なようです。ぜひふらつと奈良店に立ち寄ってみてください。



クールチョイス【賢い選択】

エコドライブ、ふんわりアクセルを踏めば、環境にプレッシャーがかからない。



NEWへの参加のお誘い

地球温暖化の防止に向けて活動するNEWは、奈良市と協働して市域での取り組みをしています。市民・事業者のご参加をお待ちしています。

発行:奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)事務局
奈良市環境政策課内

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
TEL:0742-34-4591 FAX:0742-36-5466
メール:newnara@city.nara.lg.jp

取材記事のご送付は、事務局へのファックス
または下記へのメールにお願います。

narayoshida@yahoo.co.jp
編集担当者:吉岡